

平成26年度入学試験問題（後期）

小論文

（ 教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育専攻 国語専修 ）

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
3. 解答用紙と下書き用紙を別に配付してあるので確認すること。
4. 解答は、解答用紙に記入すること。解答用紙以外に記入したものは無効である。
5. 解答用紙の一つのます目に一文字ずつ入れること。
6. 解答用紙の指定された欄に、学部名及び受験番号を記入すること。
7. 配付された解答用紙は、持ち帰らないこと。
8. 配付された問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ること。

問題

次の文章は庄野潤三の「自分の羽根」というエッセイである。作者は、子供と羽根つきをしたことによって「大事なことを思い出し、そのことを踏まえて「文学について考えてみた」と言っている。それがどのような考えであるのか、作者が羽根つきをしたことによって発見したことと文学作品を書くこととの関わりを明らかにしながら、800字以内で述べなさい。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

(庄野潤三『自分の羽根』より)